

令和元年度 第 1 回二宮町政策評価委員会 議事要旨

開催日時	令和元年 12 月 17 日（火） 13:30～16:20		
開催場所	二宮町役場 第 1 会議室		
出席者	委員	出席 6 名 湯川 恵子 委員、川上 敏久 委員、寺岡 護 委員、 小野寺 裕美 委員、三神 厚 委員、山崎 友彰 委員、 欠席 1 名 片岡 宇一郎 委員	
	町	政策担当部長	
	事務局	政策総務部企画政策課 2 名	
公開の可否	<input checked="" type="checkbox"/> 可 <input type="checkbox"/> 不可 <input type="checkbox"/> 一部不可	傍聴者数	1 人
会議次第	1. 開 会 2. 委嘱状交付 3. 町長あいさつ 4. 委員自己紹介 5. 委員長及び副委員長の選出 6. 委員長及び副委員長のあいさつ 7. 議 題 (1) 二宮町総合戦略評価に対する意見等について (2) その他 8. 閉 会		
配布資料	資 料 1 総合戦略評価シート（平成 30 年度実績） 参考資料 1 二宮町附属機関が開催する会議の公開及び 会議録の公表に関する要綱 参考資料 2 二宮町政策評価委員会条例 参考資料 3 二宮町政策評価委員会委員名簿 参考資料 4 数値目標及び K P I 一覧表 参考資料 5 「二宮町総合戦略」における体系図及び数値目標・ K P I の各年度の到達目安について 参考資料 6 KPI 達成状況分析のための参考数値 参考資料 7 総合戦略評価シート（平成 29 年度実績） 参考資料 8 二宮町総合戦略評価に係る意見書の提出について （平成 30 年度）		

【議事要旨】

(1) 二宮町総合戦略評価に対する意見等について

(主な意見交換等)

※ ◎：会長、○：委員、●：事務局

基本目標1 施策：公共施設の総合的なマネジメントとコンパクトさを活かした暮らしやすいまちづくり

- KPI が達成していることと、成果および事業の進捗が見られるところから①と評価した。
- 今回の議会で議論にもなったが、有効に活用するための面積削減ではなく、ただ削減するための目標に見えてしまうため、中身の伴った削減にする必要がある。東大跡地の活用など転入者を増やす魅力となりうるが、他の町有地の活用などに町のスタンスが見えず、計画的でない判断し③とした。
- KPI の成果は良いが、町民の利便性向上を含めたコンパクトさの考えが見えず、KPI 達成の意義が見出せないため③とした。
- 公共施設をどのように自治体が持つかは議論が難しく、KPI 達成だけで①とするのは評価が高すぎると考える。
- ◎ 他の自治体であった公共施設の削減の議論でも、総論賛成各論反対であった。人口減少社会を見据え、削減は仕方ないが少なくともその機能はどこかが引き継ぐなど、サービスの削減にはなってはいけない。そこらへんの道筋を見せながらでない評価されないのでは、評価が多かった③でどうか。
- 公共施設の統廃合は非常に議論が難しく、その中で果樹園跡地の取り組みは進んでいるので、②でいいのではないか。
- 確かに果樹園跡地の取り組みは突出して進んでいると考えるが、全体に広がっていない。
- ◎ 果樹園跡地の活用について、指標を設定することは考えられないか。
- 果樹園跡地の運営組織が出来上がったところなので、今後の取り組みとして集客や事業の開催実績などを指標に設定することは考えられます。
- ◎ 数字だけを見れば当然①になるが、皆さんの意見を取り入れると②として課題について付記するのでどうか。

基本目標1 施策：誰もが健康でいきいきと暮らせる環境づくり

- 健康寿命が目標値になっているが、いまいちイメージがつかない。
- 設定している健康寿命は国保データベースから来ていますが、実は町民の多くは社会保険に加入しています。ここでシステムの入替えてこの健康寿命が抽出できないことがわかり、この指標全体を見直さなくてはならないと考えています。また、二宮町レベルの大きさの国保加入者を対象にした指標では問題があるとも考えています。
- 指標そのものももちろんのこと、取り組みが町民にどこまで伝わっているか

- についても課題があり、③とした。通いの場など、さまざまに活動がされているのは知っているが、それらの取り組みもさらに広がってほしいと考える。
- ◎ 運動習慣がある人の割合が徐々に上がってきていることは評価した。また、成果として、障がいがある方やその家族の生活に必要な支援を実施したという文言を評価し、積極的ではないものの②と評価した。
 - 今後新しい評価指標として、二宮の町民の特徴である健康事情を考慮した指標としてもらいたい。そのような指標でないことから評価しにくい。
 - 回覧板なども見ているが高齢者のイベントや、高齢者でなくても認知症の理解を深める講座などもあり、取り組みはされていると感じている。ただ、町は「必要があったら来てください」というようなスタンスに感じられ、必要としている方にその情報が届いているのかがわからない。
 - 健康づくりの取り組みは、通いの場のスタッフとして参加しているが、説明や周知のポスターの作成など、かなり力を入れていてすごいと感じる。ただ、どこまで町民に知られているかに疑問があり、もっと取り組みを広げてもらいたいという思いで③にした。
 - 二宮町は長寿の町といわれていたので、健康づくりの取り組みはもともと進んでいたと考えていた。
 - ◎ 皆さんの話を聞いていると評価をされていると感じるため、②とします。

基本目標1 施策：地域コミュニティの醸成支援

- 肌感覚で地域コミュニティの醸成になる取り組みを感じられなかったため、④とした。
- ◎ 指標について課題があると感じた施策である。例えば、取り組み認知の媒体の発行数など、活動を広報していくというところに力を入れてはどうかと考えた。また、今の指標でも達成度合いが悪いため、④に近い③とした。
- 町民の興味関心が地域活動にないと感じる。確かに一色小学校区地域再生協議会は、広報なども含めてすばらしい活動がされていると思う。しかし、その活動が全町的に広まらないので、③とした。
- 一色地区の取り組みは、皆さん評価されているが、それが広まらないとなると、③が妥当だと考える。
- 一色小学校区の取り組みは、単級という危機感もあって活動が進んでいるのではないか。一色地区の取り組みが評価されるものであるなら、他の地域でも積極的に取り入れてもらいたいし、それが無いのはもったいない。
- ◎ 2次評価の説明の中に、「町全体の課題を先取りした新たな研究が始まっている」など、良い取り組みが伝播していくことを期待したいところだが、実際に住んでいる方の印象としては違うのかもしれない。
- 新たな取り組みが始まっているのを評価し、但し書きを付したうえで②とすることもできるのかもしれない。

- ◎ ただ、評価指標等、評価しにくく、中身も見えにくい点から、②とはしにくく、皆さんの評価の多かった③としたい。

基本目標1 施策：災害や犯罪に備える地域づくり

- マニュアル作成などを進めているようだが、地域任せで町としての取り組みが見えない。また、防災にはソフト面とハード面の整備が必要だが、ソフト面の整備しか見えないため、④とした。
- 二宮は災害がなかなか起きない町で、町民の意識もなかなか上がらない。
- ハザードマップで指摘されていることに対して、改善しようとする取り組みが見えてこない。マニュアルの作成や防災訓練の実施など、やっていることは知っているが、どこを目指して何を重点的に実施していくかが見えないと、KPIなどの成果も見えてこない。
- 二宮が、災害が起きにくい町であることは前から知っていて、それも理由で転入を決めた経緯がある。この機会にそれをアピールポイントとして打ち出し、同時に対策や取り組みを強化していけば転入の促進にもなるのではないか。
- ◎ この施策はソフト面の充実をメインにしたものと捉えた。その観点で、マニュアルの作成は相当程度進んでいるので評価できる。また、アンケート結果というものはその時々の人々の意識に大きく影響されるもので、28年度が0.52と高かったのは熊本地震の影響が大きいと考える。そのような意味で、この町は防災意識が強いと評価するのはできると思うが、行政の取り組みとして高く評価するのは考えなくてはいけない。
- 災害が発生したときに、リアルタイムで災害情報や復旧情報を知らせることができるシステムはあるのか。
- システムとしてはあるが、メール配信なので事前に登録をしてもらってその方に配信するものです。防災訓練の際など、さまざまな場面でシステムの紹介と登録のお勧めをしています。
- それ以外に、ツイッターなど、町の公式アカウントで発信するものはあるか。
- ホームページは当然として、ツイッターについても活用しています。
- 小さな町の強みとして町内の被害状況が早くわかり、早く発信するだけで、魅力の一つとして評価され、移住促進にもつながると考えます。
- ◎ 施策の評価として点数をつけると、どのようにするかが難しい。取り組みを進めているとして高く評価をつけるか、さらに取り組みを進めてもらうために低めに評価をつけるかで、意見がわかれると考える。
- 内部の評価に留まらず、外部に向けたアピール素材となるのであれば、高めにつける意味はあると思う。進めている取り組みを細かく載せたり、課題はあっても解決の方向性を示したりするのであれば、アピールになる。
- 町民として防災訓練を実施している側の身としては、もっともっと町民の防災に対する意識を上げる必要があると考えるため、③でどうか。

- ◎ では、今後に期待を持つ意味で、③と評価したい。

基本方針2 施策：「にのみやLife」の提案と発信

- 移住促進の情報提供は、さまざまな媒体でもっと精力的にやっていくべきだ。
- 費用対効果を勘案しながら取り組みを進めています。具体的には横浜・川崎エリアのミニコミ誌に広告を出しています。また、広く誰でもというのではなく、町の魅力を気に入ってくださっている方を対象にアピールをしています。
- 様々な思いはあるものの、KPIを達成しているということはそれなりの評価に値すると考える。
- ◎ 空き家の活用が1件あるということが大きな成果なのではと考えている。
- 移住経験者の協力を得るのは有効だと考えるが、逆に継続性を確保する必要がある。東京圏の人たちが二宮の海や東京大学果樹園跡地の取り組みに触れて、転入を考えるきっかけになると良い。
- 最近外から来て新しい価値観を生み出している方が多くいるため、そのような活動を紹介などして、移住につなげていけると良い。
- 移住促進のためのパンフレットは魅力的で非常に良くできている。ただ、ホームページは結果のみで、探し物は見つかりにくい。
- 移住の取り組みは、もっと大胆な取り組みが必要ではないか。
- ◎ 人口減少の傾向は大きくは変えられないものだと思っている。そういう意味では移住フェアなどは成果が出ていると考える。また情報発信については工夫されていて、少しでも関心がある方向けに情報編成されていると思うが、たくさん転入者に結びつくものではない。そこで③と評価し、ただし書きでホームページの改善や移住促進事業の強化、またそれに見合った町の魅力の充実について意見したい。

基本方針2 施策：二宮を知り、二宮に触れ、二宮を体験できる環境づくり

- ◎ 図書館の来館者数について、見直しが必要との評価がついているがその理由について説明してもらいたい。
- 来館者数をカウントしていた機械の故障により、従来と同様のカウントができなくなったため、別の指標に変える必要があると考えています。
- ◎ 何人来たかではなく、住民一人当たり何回来たかというほうが説得力があると考えます。
- 特定の利用者がたくさん使っていて、使わない人は全然利用していないと考えるが、図書館はそれでいいと思う。文化祭などは町民に知られていないのではないかと考える。
- 文化のKPIはラディアンの利用率はいいのに、アンケートではマイナスになっているため、指標そのものを変更したほうが良いと考える。
- ラディアンや花の丘公園ではイベントがよく開催されており、賑わいがある

と考える。また、図書館も花の丘公園で遊んだ親子が休憩として立ち寄っているとよく見かけ、そのような活用があると思う。ただし、図書館をメインで利用する方から見ると物足りなさがあるようだ。その意味からも図書館のあり方について検討できると考える。

- ラディアンは位置的にとっても恵まれており、建物もきれいで魅力の一つだと思う。これを近隣の市町にアピールできれば利用率は上がると考える。
- ◎ 立地も良いが、500人のホールなど市民活動にはちょうど良い大きさのため、そこもアピールポイントになり、利用の増加につながれると考える。図書館については、近隣の大学と連携することで、蔵書にない図書を借りることができる制度がある。
- ホールの利用が日中少ないのであれば、カラオケ利用などと合わせ高齢者に利用促進すれば、利用率も上がり、利用料も得られるのではないか。
- ◎ 好立地等魅力がある菜の花やラディアンは、もっとアピールすることで利用率が向上できるのではないか。また、KPIについてもすぐわないものがあるため、検討を要するのではないか。それらを含め③と評してはどうか。

基本方針2 施策：特色ある学校教育による子どもたちの生きる力の育成

- 二宮の学校は非常に良いと考える。このよい環境から夢や運動習慣が目標を達成できているのではないか。
- ◎ 一次評価で、人材が足りないとの記述があるが、これはどのようなことか。
- 近年課題がある児童や障がいがある児童などが増え、これらをインクルーシブ教育的な関わりを進めていくためには、サポートする人材が不足しています。
- ◎ これは町だけで解決できる問題ではなく、県や国などへの働きかけが必要だと考える。そのため、できる限りの取り組みの中では②と評価した。
- そもそも「特色がある」という表現には広がりがあり、他に抜きに出て特色があるものがあるのかという思いがあり、④にした。
- 一色小学校はコミュニティスクールを先行して導入しており、学ぶだけでなく体験する取り組みが充実している。これは特色があると言えると思う。今後、他の学校に広げていってもらいたいことと、小中一貫のことなどビジョンが明確になっていないことがあり、それらを含めて評価した。
- 町教育委員会が考える特色として、他市町と比較してというのではなく、コミュニティスクールや英語の乗り入れ授業、小中一貫教育の推進などを進めています。
- 二宮中学校ではコミュニティスクールを導入して、現在手探りでよりよいあり方について検討している最中ではあるが、徐々に特色になりうるのではないかと考えている。
- 特色ある教育は転入促進には効果がある大きな魅力で、もっともっと取り組みを進めるべき分野だと考える。

- ◎ 学校の統合については、現在ビジョンがあるのか。
- 町は小中一貫教育にメリット見出し、検討を進めているが、先行して乗り入れ授業などを実施しています。「特色ある教育」を打ち出したのは文科省ですが、二宮町の特徴として学校と地域が近い地域性があるので、そこを生かしてコミュニティスクールを導入しました。
- 小中一貫教育で新しい人の流れを作るとというのがイメージできない。また、近隣で給食問題など、悪いイメージがある中で、それを打破する、魅力ある教育が打ち出せるのか疑問である。
- 町はずいぶん昔から給食センターがあり、給食問題はありません。小中一貫教育だけでは、魅力と打ち出せないかもしれませんが、それを踏まえたカリキュラムの編成などにより、特色は生み出せると考えています。
- 二つの KPI は現場の先生方の努力などもあり、順調に伸びており、しっかり評価することで、先生方の努力を認めることになり、②と評価してはどうか。
- ◎ KPI の達成度からみると②で良いと考える一方、町民感情として「もっと頑張ってもらいたい」という意見の現われとして③としたうえ、意見を付記していきたいと考える。

基本目標3 施策：子育て世代を見守り、支えるための妊娠期、出産期、育児期における切れ目のない支援と環境づくり

- アンケートでは20代、30代の世代がマイナス評価になっている。転入促進をするためにも、ここはもっと力を入れて行くべきだと考える。
- ◎ アンケート結果以外は目標をクリアしていて、特に待機児童0を含む、保育環境の充実を図ることができたという文言から、①と評価した。良いものは良いと評価して、二宮の特徴にすることもできると考える。
- 二宮は近隣に比べ保育園や幼稚園が多くあり、待機児童0が達成できたと考えられる。数十年前を振り返っても子育て環境としては申し分ないと感じていたため、今の保護者がなにをもってアンケートにマイナス評価をしたのかが気になる。
- 町内に住んで都市部に仕事に行く方からすると、保育園に預けて仕事に行く動線を考えた場合、例え待機児童0だったとしても満足にならないのだと思う。
- 子育て世代としては、数値的にそろえたけれど、まだまだ課題があるため、もっと頑張ってもらいたいのだと思う。子育て包括支援センターも18歳まで対象とのことだが、小学生の親からするとすでに対象から外れた印象があり、周知が足りないのかと考える。その意味で③と評価した。
- ◎ では、③として辛目のコメントを付して評価としたい。この評価委員会として実際の町民の方の感じているところを評価として出していくべきだと考える。
- ③でよいが、病後時や子育て包括支援センターなどの取り組みを着実にして

いるほか、他の市町で懸案になっている待機児童問題を解決したので、そこは評価したうえで言及したほうがよい。

- ◎ ③と評価したうえで、良い部分や良いと評価し、課題については改善を求める付記をつける。

基本目標3 施策：子育てと仕事の両立の推進

- とても難しい。家事・育児時間はアンケートの難しいところで、この数値がいいのか悪いのかわからない。また、役場男性職員の育児休業取得割合は、目標が高すぎてとても達成できないと感じる。
- ◎ 数値化しないといけないのはわかるが、男性の指標に偏りすぎではないか。指標について検討する必要がある。
- この施策の評価は難しく、2次評価も③なので、委員評価が多い③でよいのではないか。
- この指標は役場に対するプレッシャーとして設置している側面があります。
- 町内に住んで町内で仕事をする人は少数派であり、モデルとするべきは町外に仕事に出る人だと思う。そう考えると前の施策に関連するが、子育てと仕事の両立の支援が進んだと言い切れないのではないか。
- ◎ 動線を考慮するのであれば、保育園の第1希望に入れている人の率などを指標にすると満足度が図れるのかもしれない。そういった意味で、この施策は指標の見直しをしないと評価が難しく、一番評価の多かった③としたい。

基本目標4 施策：地域にしごとを生み出し、資金を循環させるしくみづくり

- 取り組み自体を知らなかったことと、取り組みの結果が何につながるのか、イメージが持てなかったため、④と評価した。外部からの転入促進と町内の商業振興はリンクしているので、もっと誰もがわかるように情報の発信方法について検討する必要がある。このような取り組みは単発で終わりがちだが、成果が出るのは数年先のことなので、事業の継続性ととも、KPIについても事業の実施回数だけでなく、成果が何につながったかについても設定することで、プロジェクトの進捗がわかると思う。
- ◎ 数字だけだと、写真のようにその時の状況しかわからず、全体の進捗がわかりにくいというのは確かだと思う。また、商工会加入件数とすると、ネット販売をメインとしていたり、商工会の加入にメリットを感じなかったりする小規模事業者は拾えないため、そこについても検討が必要と考えます。
- 町も商工会もオーリーブをはじめとした特産品を使った商業振興に熱心に取り組んでいる。ただ、町民の方がその取り組みを知らないということは課題であり、資金を循環させるしくみともなっていないため、そこを踏まえて評価する必要があるため、②とか③とかが妥当だと思う。
- 創業塾は商工会が開催している起業を考えている方を対象としたセミナー

です。空き店舗を活用したり、飲食店を開業したりするのが対象だが、セミナー参加者には講義だけでなく、商工会が空き店舗を探したり、不動産会社や金融機関につなげたりしています。

- ◎ そうすると起業に関する相談件数は把握できると思うし、セミナーに参加した方で実際に起業した件数もわかると思うので、関心がある人がどのくらい創業しやすいのかという観点で指標を考えたほうが良いと考える。
- 二宮での創業は難しいと考える。町や商工会の努力により成果指標のような成果が出ているのは評価できるため、②としたが、継続できるかという二宮は難しい環境だと思っている。
- ◎ 努力していることは認められるが、③でどうかと考えている。

基本目標4 施策：町の環境を活かした再生可能エネルギーの地産地消等の可能性検討

- 二宮町では面積的な問題もあり、大掛かりにはできないと考えるが、指標は一定数達成しているため、②とした。
- 自治体としてやらなくてはいけない分野ではあるが、難しい分野でもある。その中でも2施策実施できているので、今後の頑張りを期待して②とした。
- ◎ 0だったものが2になったのは大きいと感じるため、②とした。
- 現段階の進捗ですが、一般の方が社会福祉施設の屋上を借りてソーラーパネルを設置し、電力を生産する「二宮電力」という会社を立ち上げました。
- ◎ 皆さんの意見や町の説明を聞くと②で良いのではないかと考える。

基本目標4 施策：身近な地域で働く希望を叶えるための雇用創出

- ◎ KPIの従業者数が記載されていないのはなぜか。
- 他のKPIでも課題になっている統計情報から数値を取っているため、数値がない（調査を実施していない）年や発表に遅れがあるものがあります。従業者数は経済センサスから数値を取っているため、かなり遅れて公表されるものです。
- 二宮での雇用は高くはないと考える。また、先ほど紹介されたオリーブをはじめとする特産品による商業振興も、どのように雇用に結びつくのかイメージできない。
- 人口減少が進んでいくなか、町民を相手にした商売には限界がある。そんな中、他県では空き家にインターネット環境を整え、無償で提供することで人を呼び込む取り組みをしているところもあるが、町はどう考えているか。
- 東大果樹園跡地の取り組みとして、運営組織はトレーラーを使ってコワーキングスペースを確保する取り組みを考えています。また、住宅供給公社は、団地の空き部屋に新規就農者に格安で部屋を貸す取り組みをしています。先ほどのオリーブの取り組みは、収穫量がまだ少ないため、町は農家に対して栽培を

勸奨し、加工業者に対しては生産物を全て買い取って加工してもらうという取り組みを商工会とともに進めています。

- ◎ 農業参入数だけでしか評価できず、取り組みをしていることはわかったが、成果として出てくるのが難しい事業でもあるため、③と評価する。

(2) その他

- ・次回の委員会については、1月17日(金)10時00分から開催します。内容は本日の意見のとりまとめと、町への意見書について検討します。
- ・本日の議事録を作成するため、確認作業にご協力ください。
- ・出席報酬が発生する委員は、請求書等の書類を提出してください。

【以 上】